

ほっこり ウィークリー

(毎週金曜日発行)

36号
2021
1.15

京都府立植物園

〒606-0823 京都市左京区下鴨半木町
TEL 075-701-0141 FAX 075-701-0142
<http://www.pref.kyoto.jp/plant/>

園内で野鳥の死骸を発見されましたら、鳥インフルエンザの疑いもありますので絶対に触らずに職員や各門へお知らせください。



行事予定と今週ぜひ観ていただきたい植物の情報をお届けします！

※休園日は、年末年始(12/28~1/4)だけです。

※ 京都府立植物園公式ツイッターアカウント始めました！見頃の植物情報を中心につぶやいています。



バラ剪定講習会

○1月23日(土) 13:30~15:00 (受付13:00~)
・「四季咲きバラの剪定」植物園会館2階多目的室
※講師：松尾正晃氏(まつおえんげい)
※定員：先着30名
※ばら園で実技があります。

第10回 新春を彩る 寄せ植えハンギングバスケットコンテスト展

○期間：1月10日(日)~1月31日(日)
○場所：北山門周辺 ~壁掛け型ハンギングバスケット&寄せ植え!

第29回 洋ラン展

○期間：1月29日(金)~2月11日(木)
○場所：観覧温室(特別展示室)
○内容：洋ラン約200鉢を展示(販売あり)

◆1/31(日)洋ラン展関連 講演会

植物園会館2階研修室 13:30~15:00
(当日会場受付 13:00~) ※定員：先着30名
「ランの花にみられる送粉について」講師：戸部園長

洋ラン展関連 講習会 募集中!!

1/30(土)、2/6(土) (1回目) 10:30~11:30
(2回目) 13:30~14:30

★ランを使ったアレンジメント ★定員：各回10名
★参加費：1,500円(別途、入園料、入室料が必要)
★事前申込：往復ハガキに講習会名、受講希望の日・回、住所、氏名、電話番号を明記 ★切：1/20(水) ★会場：観覧温室 特別展示室

「水曜ミニガイド」植物園認定が 仆がご案内!

※当面の間 水曜ミニガイドは中止させていただきます。

「技術課長のてくてくさんぽ」

1月24日(日) 何処を歩くかはお楽しみ!

植物園会館前集合：午後2時スタート!

スマホdeガイド



QRコードをスマホで読み込み、「位置情報を利用する」に設定!

京都府立大学との共同により、スマホを使って園内の自分の位置が確認できる『スマホdeガイド』を作成! ‘おすすめ樹木めぐり’ ‘おすすめエリアガイド’などをスマホで確認し、植物観察!

洋ラン展関連 講習会 募集中!!

2/7(日) (1回目) 10:30~11:30
(2回目) 13:30~14:30

★ミニカトレヤ他の栽培について ★定員：各回10名
★参加費：1,500円(別途、入園料、入室料が必要)
★事前申込：往復ハガキに講習会名、受講希望の回、住所、氏名、電話番号を明記 ★切：1/20(水) ★会場：観覧温室 特別展示室

若手作家による希少植物作品展 ~あしもとにゆらくvol.2~

○期間：1月30日(土)~2月7日(日) 10:00~16:00
○場所：植物園会館1階展示室
○内容：若手作家による水彩画等、全国各地の希少植物が描かれた作品を展示

「第16回 早春の草花展」

~春を感じる風の中で~

2月13日(土)~3月14日(日) 10:00~16:00

大芝生地 特設会場にて...

~寒さの残るこの季節~

一早く「春の景色」をお届けします!~

「土曜ミニミニガイド」 技術課職員が植物解説!

毎週土曜日は...

植物園会館前集合：午後1時スタート!

「植物園ガイド」が植物案内!

~見どころ案内・魅力解説・楽しさ倍増!~

- ① 7名以上のグループや団体で来園される方を対象
- ② 申込は希望日の10日前までに。(要相談)
- ③ ガイドは1時間程度。(無料)

* 申込先：京都府立植物園 TEL 075-701-0141

植物園芸相談

■ 毎週 日曜日 午前9時~正午、午後1時~午後4時
■ 電話075-701-0141

※年間パスポート好評発売中

- ・1年間、何度でもご利用いただけるお得なチケットです!
大人1000円 高校生750円
- ・入園門でご購入いただけますので是非お買い求めください。
※温室観覧料は別途必要となります。

植物園HP!



今週の「探して！」

2021. 1. 15

36号

⑫ ウナズキヒメフヨウ

アオイ科。メキシコ～コロンビアに分布。花は生長するに従い、徐々に下向きになる。この様子から「うなずき」と呼ばれている。また、花が完全に開かないことから「スリーピング・ハイビスカス(眠ったハイビスカス)」との別名でも呼ばれる。

⑪ オオカメノキ(冬芽)

レンプクソウ科。北海道～九州、サハリンなどに分布。漢字で「大亀の木」と書き、葉の形が亀の甲羅に似ることから名が付いた。別名のムシカリ(虫狩)は、虫がこの葉を好むことから。冬芽の形がユニーク。ウサギ？ウルトラマン？それとも…

⑩ カクチョウラン

ラン科。沖縄列島、東南アジアなどに分布。地面に根を下ろして生育する地生種。漢字では「鶴頂蘭」と書き、咲いた花の姿を鶴に見立て名が付いた。1mを越す長い花茎をまっすぐ上に伸ばして幅10cmほどの花を複数咲かせる。

⑨ スノードロップ

ヒガンバナ科。ヨーロッパ各地から西アジアまで広く分布。英名のスノードロップ(雪のしずくの意味)は花の色と形から。他にも、16～17世紀に人気のあった耳飾りに似ているなど、名前の由来は諸説ある。花言葉は「希望」や「慰め」。

① ウンナンロウバイ

ロウバイ科。中国の雲南省が原産。花の少ないこの季節に咲くことから、ギリシャ語で「冬の花」という意味があり、属名のChimonanthusの由来。ロウ細工のような花弁は薄く半透明で、基本種のロウバイに比べて白っぽいところが大きな違い。

② ビオラ

スミレ科。ヨーロッパに自生する野生種から育種され、かつては大輪のものをパンジー、小輪で株立ちになるものをビオラと呼んで区別していた。しかし、現在は複雑に交雑された園芸品種が登場し、区別しにくくなっている。

③ シシユズ

ミカン科。中国原産。名前にユズが付くが、ユズの仲間ではなくブントンの仲間である。果実は大きく約1キロにもなる。その「獅子」のような外観と併せ、中国南部および台湾ではブントンのことを一般に「柚子」と呼ぶことが名前の由来。

④ 聖護院カブ

アブラナ科。日本最大のカブ。京の伝統野菜としても知られ、江戸期の享保年間(1716～36年)に京都市左京区聖護院の農家が持ち帰った近江カブの種子を、京都の風土に合うように改良して誕生した。京漬物「千枚漬け」の原料。

⑤ ロウヤガキ

カキノキ科。中国原産。カキノキの仲間で、秋から冬にかけてがく片が細長く羽根つきの羽根に似たような実を結ぶ。この実は小さく渋いため食用とはならないが、独特の形状と色味が面白く、観賞用として盆栽などによく利用される。

⑥ ヤマコウバン

クスノキ科。日本、中国などに分布。葉をもむとショウガに似た香りがすることから「山の香ばしい木」という意味の名が付いた。枯れ葉が「落ちない」その特徴から受験生に御利益があるとされ、植栽されている半木神社は隠れたお参りスポット。

⑧ ナルキッサス・カンタブリクス

ヒガンバナ科。スペイン南部、北アフリカに分布。冬に白いかわいい花を咲かせる小型のスイセンの仲間で、清楚な美しさが人気。特徴は漏斗状の副花冠が発達していること。開花時期は、通常12～3月。花の少ない冬の花壇を彩る。

⑦ ケコンロンカ

アカネ科。中国南部から台湾に分布。長さ5cm程度の白い葉のように見えるものは、1枚のがく片。5枚あるうちの1枚だけが大きくなり白く色付いたもので、がく苞と呼ばれている。星形の花は1cm程度の大きさでオレンジ色がよく目立つ。

